

防災訓練実施結果報告

原子力規制委員会 殿	東大安環第 79 号 平成 25 年 6 月 18 日
	報告者 住所 東京都文京区本郷7-3-1 氏名 国立大学法人東京大学 学長 濱田 純
	(担当者: ██████████ 所属: (工)原子力専攻 電話: ██████████)
防災訓練の実施の結果について、原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定に基づき報告します。	
原子力事業所の名称及び場所	東京大学大学院工学系研究科原子力専攻 茨城県那珂郡東海村白方白根 2-22
防災訓練実施年月日	平成 25 年 3 月 15 日
防災訓練のために想定した原子力災害の概要	原子炉室内での火災並びに汚染事故を想定し、通報訓練を実施する。
防災訓練の項目	①緊急作業団編成訓練 ②救出訓練 ③消火訓練 ④核燃料保全訓練 ⑤汚染検査・除去訓練 ⑥情報伝達訓練
防災訓練の内容	①緊急作業団編成訓練 火災に伴い緊急作業団を招集。 ②救出訓練 負傷者に対する汚染検査を含む救出。 ③消火訓練 作業班及び消防隊による消火活動。 ④核燃料保全訓練 廃止措置関連作業のため、炉心燃料の取出しを想定。取出燃料は原子炉室東側側面に保管。 ⑤汚染検査・除去訓練 汚染の程度を評価し、必要に応じ警戒区域を設定。また除染等に必要な処置。 ⑥情報伝達訓練 各班長よりトランシーブを用いて迅速な情報伝達及び本部での統括。消防及び学内関係部署への通報連絡。
防災訓練の結果の概要	訓練項目及び内容についてほぼ計画通りに実施した。
今後の原子力災害対策に向けた改善点	規模の小さい事業所のため、いかなる事態にも対応できるように、役割分担を変えた訓練を行う必要がある。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。